

「いつもどおり」のありがたさ ～学校生活の中で～

2学期がスタートして2週間余りが経過しました。ご家庭での子どもたちの様子はいかがでしょうか。夏休みが始まった直後に大きな地震があり、子どもたちも不安を抱えた中でその後の夏休みを過ごしたことと思います。地震からちょうど1か月後に2学期が始まり、会っていなかった友だちとの再会や1学期までの学校生活が送れることで、子どもたちは日常を取り戻しつつあるようです。もちろん、まだ不安を抱えたり、心配になったりすることもあるかもしれませんが、誰にでも起こりうる反応です。



5年生の授業



クラブの時間

時間の経過とともに変わっていくと思いますので、今後とも子どもたちのことをしっかりと見守っていきたいと思います。ご家庭でも気になることがありましたら、いつでも担任までご相談、ご連絡ください。

「まさか」に備える ～6年生着衣泳～

1学期の最後の週に、上益城消防署の方々を講師をお願いして、「着衣泳」を行いました。水泳の授業は行っており、多くの児童がプールで25m以上泳ぐ力がついているものの、普段着で川や海の中に入ったら何もできない、では自分の命を守ることができません。そこで、洋服を着たまま水の中に入る感覚を学び、溺れそうになった時に一番大切な「浮くことができる」ように計画しました。子どもたちは、初めての感覚に戸惑いながらも徐々に慣れていって、長時間浮くことができるようになっていました。



みんなで浮いてみる

食べることについて学ぶ ～栄養教諭の講話～

1学期の後半から、嘉島中学校に所属しておられる栄養教諭の志賀先生に、食育に関する講話をしていただいています。給食の時間に全クラスを回って、「かむことについて」を中心に話をいただきました。毎日の食事は、体を元気にし、心も支えてくれます。よく食べ、よく学び、よく遊ぶことが、子どもたちの健やかな成長につながるのではないのでしょうか。



栄養教諭からのお話

★発見！「自ら気づき、考え、行動する」嘉島西っ子★

9月1日から25日までの期間、教育実習生として飯田先生が来られています。嘉島西小学校出身で、現在、北九州の大学で学んでおられます。ちょうど前回の地震の頃に高学年として嘉島西小学校におり、当時の話もしてくださいました。当時の夢は女子サッカー選手になることだったそうですが、中学、高校と進学する中で、「教員になりたい」と考えるようになったそうです。再来年になりますが、ぜひ熊本県の教員になってもらい、子どもたちの教育に携わる仲間になってくれることを期待しています。

